



きらめき 串木野っ子

(校訓)
よく考え、
明るくすなおで、
がんばる子

令和3年度1月号
串木野小学校学校便り
令和4年1月26日発行



虎穴虎子 (こけつこし)

～「虎穴に入らずんば虎子を得ず」って本当ですね～



校長 藤山 洋一

令和4年寅年。年明け早々に新型コロナオミクロン株の大流行で、めでたさも半分の新年がスタートしました。年齢のせいかわり、防衛体力が低下し、真夏と真冬がとても苦手な私は、大寒の頃になると思い出すことがあります。それは、凍てつく山中に一人用のテントを張り、その中で子どもたちがそれぞれ一人で一晩を過ごすという、今思えば無謀とも言えることを青少年教育施設事業として実施したことです。厳密に言うと、当時その施設の責任者として、担当指導主事が企画したその事業計画に、ゴーサインの決裁印を付けてしまったことです。(^^)風の音とも獣の声ともつかない不気味な漆黒の闇、寒中テントに寝袋一つで子ども一人が一晩過ごす。「無謀だろ、大体親御さんがそんな事業に申し込むはずもないだろ。虎の穴(分かる世代にはわかるでしょ。タイガーマスクです)じゃあるまいし。」といった議論とは裏腹に、申し込みが殺到して抽選になるほどの大反響となったのです。

確かに、成果を得ようとするればそれなりの挑戦(負荷)は絶対に必要です。中途半端な挑戦であればそれなりの成果しか返ってこない。理屈では理解していても、果たして今の小中学生の子どもたちが寒に耐え、得体の知れぬ孤独と闇夜の不安に耐え、いったい何をしてくれるのだらうと期待と不安を交錯させながら、参加者の安全監視に徹した夜を思い出します。相当な覚悟をもって「虎穴(困難)」に挑んだ参加者が、後に確かな「虎子(成果)」を得たことを、当時の掲載記事「若い目」の感想で知ることができましたので、一部抜粋で紹介いたします。

一人のテントは寒くて、暗くて、とてもとても不安になりました。寝袋にすっぽりくるまって、お母さんや家族のことを考えました。やっぱりお家が温かいなと思いました。空気も水も手がちぎれそうなくらい冷たかったけど、自分のご飯は自分で作りました。家に帰ったらお母さんの手伝いをして「いつもありがとうね。」と言いたいです。・・・(小学生女子)

ところで、「虎穴に挑む強い覚悟と意志」ということでは、わが串木野小の5年生も約1年間挑戦し続けてきたことがありました。1月18日・19日の2日間で実施された鹿児島県学習定着度調査(県下の5年生が一斉に受検し、既習の定着を調査するためのテスト)に向けた取組みです。どの教科が何点だったかという数値上の成果についてはとりあえず置いておいて、私が最も納得し、満足できたことは、テスト中答案用紙に向かう子どもたちの「眼の力」です。それは4月の頃の彼らとは明らかに違うものでした。「わかる、できる喜びや自分自身の成長を真に実感できるのは、覚悟をもって本気で取り組んだ人だけです。」「高校入試や大学入試と同じように小学5年生の入試は定着度調査という気持ちで、1月までとことん頑張ってみないか。」4月、校長ガイダンスで、さえない精神論を叩き込まれた子どもたちのぼかんとした表情からすれば、見違えるほどの真剣さが伝わってきたのです。火が点いたのは子どもだけではありませんでした。調査終了直後には、何人かの親御さんから我が子の点数を尋ねるお問合せがあり、これには正直驚きました。それほどに親も子も真剣に受け止めてくださっていたことをうれしく思いました。

「学力」「点数」が全てであるとは全く考えていませんが、学びの意味や喜びを少しでも感じるきっかけとして、そして物事に対する情意的なポテンシャルが高まればうれしく思います。

今年も寅年。虎穴に挑む強い覚悟と意志をもって虎子を得られる年にしたいと願います。

全国大会優勝 さらなる飛躍を期待して

神村学園高等部3年生の愛川陽菜さんが串木野小学校に来校されました。(本校の卒業生)全国高校総体と先月の全国高校女子サッカー選手権大会と連続優勝の報告でした。チームでは、キャプテンそしてトップ下のポジションを任せられ、優勝に大きく貢献した愛川さん。本校の出身者としては、ゴールキーパーを務めた坂口 波さんも優勝メンバーの一人です。

ずっしりと重いメダル2個を見せてもらいました。今後は、WEリーグのINAC神戸への入団が決まっています、国内や世界での活躍が期待される愛川さんです。後輩たちにも、目標をもって努力してほしいということでした。



3学期スタート



3学期の始業式にあたり、2人の児童が冬休みの思い出や今後の目標を発表しました。

2年生の幸英苾さんは、正月に祖母宅でおせちを食べたこと、初詣に行ったこと、お年玉をもらったことなどの思い出や3学期の縄跳び大会での目標、かけ算など学習面で努力すること等を発表しました。

6年生の松本海政さんは、体力づくりに励んだことや中学校生活も見据えて読書や学習もがんばったと冬休みの思い出を発表しました。また、3学期は小学校生活を締めくくると大事な時期であり、仲間とよい思い出を作りたいと決意を語りました。

1年間をまとめる3学期、全校児童が健康で楽しく学校生活を送り、卒業、進級の日を迎えられるように励ましていきます。

学校評価集計より (R3. 12月実施)

<地域の方より 4段階評価の平均>

- | | |
|-------------------|-----|
| 1 学校便り等による広報 | 3.1 |
| 2 地域・保護者の信頼に応える教育 | 3.1 |
| 3 子供たちが毎日楽しく登校 | 3.3 |
| 4 子供たちのあいさつ | 3.1 |
| 5 素直で健全な子供の育成 | 3.3 |
| 6 子供の地域行事への参加 | 3.2 |
| 7 本校職員の気持ちのよい対応 | 3.1 |
| 8 子供たちの安心・安全の確保 | 3.3 |
| 9 学校と家庭・地域との連携 | 3.0 |
| 10 特色ある教育活動の推進 | 3.0 |

おおむねよい評価をいただいていると考えますが、串木野小の特色を生かした地域と連携した教育活動、安心・安全への配慮等については、ご期待に応えるべく一層努力していきます。

<保護者より 4段階評価の平均>

- | | |
|------------------|-----|
| 1 学年に応じた家庭学習時間 | 2.8 |
| 2 家庭でのあいさつ | 3.4 |
| 3 携帯やスマホの約束を守る | 3.0 |
| 4 歩いて登校 | 3.3 |
| 5 早寝・早起き | 3.1 |
| 6 TV・ゲーム等の9時オフ厳守 | 3.2 |
| 7 学校や担任との連携 | 3.2 |
| 8 参観やPTA等への参加 | 3.2 |

家庭学習時間の達成や読書習慣の育成については今後も声かけをお願いします。情報端末は家庭での約束を守った使用を。

絵本・紙芝居を寄贈していただきました

絵本作家の崎野純子様(串木野小出身)より絵本と紙芝居を寄贈していただきました。絵本「うんまかせんにん」では、食のまち串木野を鮮やかな挿絵で紹介され、串木野のよさをもっと発信したいという思いが伝わってきます。紙芝居では、うんまかせんにんが「冠岳からみんなのこを見守っていますよ」というメッセージを伝える作品です。郷土を愛し、子どもたちの健やかな成長を願い、絵本を出版されたということで、校長室で絵本の贈呈式を行いました。有効に活用していきます。ありがとうございました。



2月の行事予定

- | | |
|--------|--|
| 1日(火) | 串中・西中入学説明会 |
| 3日(木) | 串中・西中校区合同家庭教育強調週間
(2月9日まで) |
| 4日(金) | 串木野小新入学児保護者説明会 |
| 12日(土) | 土曜授業
※ 授業参観は中止
※ 4年生 半成人式は今後検討 |
| 16日(水) | 薩摩藩留学生記念館 日本遺産麓地区見学
6年1組 (2組17日, 3組18日) |
| 18日(金) | 第4回学校運営協議会 |
| 22日(火) | 教育相談日 |

